



隊列を整えて「元気よく」

絢文はなぶな女学校の伝統を育む

下妻二高展



下妻実科高等女学校全景 昭和8年



和服裁縫の授業風景 昭和14年頃



下妻二高正門 昭和28年



下妻二高のあゆみや卒業生・現役生の美術作品を展示します



平成25年

11月30日(土) - 12月15日(日)



● 下妻二高芸術祭 ●

12月8日(日) 午後12時30分~2時30分

- ♪ 卒業生による発表
- ♪ 現役生による発表 (吹奏楽部・箏曲部・演劇部・書道部パフォーマンス)
- ♪ 生け花の展示 (卒業生・現役生)
- ♪ お抹茶サービス (卒業生・現役生) * なくなり次第終了



開館時間 午前9時~午後4時30分

休館日 12月2日(月)・9日(月)

入館料 一般200円(160円) 児童生徒100円(80円)

()内は15人以上の団体料金 * 65歳以上、小学生未満は無料

後援 茨城県立下妻第二高等学校・下妻二高同芳会・下妻二高PTA

下妻市ふるさと博物館 下妻市長塚177番地(ビズパーク手前) 0296-44-7111





利用者の声



斉藤 美知子さん
花奈ちゃん
(1歳1か月)

「あうるくらぶ」を利用して約1年。週3回来ることもあるという斉藤美知子さん(下木戸)に話が聞きました。

きっかけは…

市のお知らせ版で「あうるくらぶ」の存在を知っていましたが、保健センターのママサロンに参加したときに、既にご利用しているママ友から「楽しいよ」という話を聞いたことがきっかけでした。

利用して感じることは…

ママ同士のおしゃべりで情報交換や、先生方にちょっとした子育ての悩みや不安を気軽に聞いてもらえるところがとてもいいです。子育て経験のある先生方や先輩ママの話は参考になるし、安心できます。

これから来られる皆さんへ

知らない場所に来るのに、最初は抵抗があるかも知れませんが、とにかく一度来てみてください。いつ来ても、子どもママもみんなお友達になれると思います。先生方も温かく迎えてくれますので、ぜひ利用してほしいと思います。

子育て支援センター「あうるくらぶ」5つのポイント

1 利用時間や場所

利用日 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)
 午前の部 午前9時～正午
 午後の部 午後1時～午後3時
 利用料 無料
 ※ただし、体験教室などの一部に材料費あり
 場所 下妻市高道祖60番地2(旧しみず児童館)
 電話 44-2983

2 遊びの場

おもちゃで遊ぶのはもちろん、親子でふれあいながら楽しい時間を過ごす「親子レクリエーション」や、水あそび、さつまいも掘りなどの野外活動を実施しています。ぜひ遊びに来てください。

3 学びの場

看護師などによる子育て講演会や、ママのためのフラワー教室などを開催しています。開催予定はセンター内の行事予定表や、毎月20日頃に発行する「あうるだより」でお知らせしています。

4 相談や情報交換の場

子育ての悩みや疑問については、随時受け付けています。スタッフにご相談ください。また利用者同士で、いつでも話し合うことができる場所です。スタッフに気軽にお声かけください。

5 癒しの場

親子でゆったりとした時間を過ごして、リラックスしてください。施設内ではスタッフもお子さんを見ています。本を読んだり、利用者同士で会話を楽しんだり、普段の疲れやストレスを癒してください。



子育て支援センターは、子育てに関する悩みや楽しさを様々な方と共有し、情報交換ができる場です。

「同世代の子育て仲間がほしいな」「悩みや不安があっても相談できる人が周りにいない」などと感じたときには、子育て支援センター「あうるくらぶ」をご利用ください。

センターでは、子ども同士で遊んだり、親子でゆっくり本を読んだり、制作をしたりと、色々な経験を楽しんで過ごしていく中で、子育てのストレスを軽減し、気軽に子育てに関する悩みを相談することができます。

子育ての強い味方
子育て支援センター「あうるくらぶ」

共働き家庭の増加や、核家族化による地域における子育て家庭の孤立化など、近年の子育て環境は大きく変わってきました。市では、子育て世代が安心して子どもを産み育てやすいまちを目指して、多彩な子育て支援事業に取り組んでいます。

今回は、地域の中でお互いに助け合うなど、新しい子育てのカタチとして、子育て親子の交流の場「子育て支援センターあうるくらぶ」と、子どもを預けたいというときに頼りになる「しみずファミリーサポートセンター」などを紹介します。



センターに集まり、元気に遊ぶ子どもたち



子育て応援情報

子育てひろば事業として、市内7か所で、育児中の親子などを対象に子育て支援を行っています。

- 1 おもちゃのひろば
 - ・開催 毎月第2金曜日
 - ・時間 午前10時～午前11時30分
 - ・場所 下妻市社会福祉協議会2階和室
- 2 子育てひろば にこにこ
 - ・開催 毎月第4金曜日
 - ・時間 午前10時～午前11時30分
 - ・場所 上妻市民センター
- 3 子育てひろば わくわく
 - ・開催 毎月第3金曜日
 - ・時間 午前10時～午前11時30分
 - ・場所 豊加美市民センター
- 4 子育てひろば しあわせ
 - ・開催 毎月第1・3水曜日
 - ・時間 午前10時～午前11時30分
 - ・場所 高道祖市民センター
- 5 子育てひろば ひまわり会
 - ・開催 毎月第4火曜日
 - ・時間 午前10時～正午
 - ・場所 千代川運動公園ふれあいハウス
- 6 子育てひろば るるん
 - ・開催 毎月第2水曜日
 - ・時間 午前10時～午前11時30分
 - ・場所 鷹波ノ江市民センター
- 7 子育てひろば スマイルKIDS
 - ・開催 不定期(要予約)
 - ・時間 午前10時～正午
 - ・場所 リフレこがい

問い合わせ 下妻市社会福祉協議会
44-0142



平成25年度下妻市表彰式

市政発展に多大な功績

平成25年度下妻市表彰式

10月18日、「平成25年度下妻市表彰式」を、ヒアスパークしもつままで開催しました。

多年にわたり市政発展に尽くされた方や、徳行が市民の模範となる方の功績を称える表彰式では、自治功勞表彰3名、一般功勞表彰39名、特別功勞表彰1団体の計42名・1団体が表彰されました。

このたび表彰された皆さんは、次のとおりです。
(順不同・敬称略)

- ◆自治功勞表彰
 - 選挙管理委員会委員
 - 森田 隆雄 (神明)
 - 木瀬 武二 (田下)
 - 公平委員会委員
 - 塚田 勇 (長塚)
- ◆一般功勞表彰
 - 地方自治の進展
 - 代表区長
 - 栗原 忠夫 (下木戸)
 - 鈴木 良一 (大宝)
 - 外山 重信 (大木)
 - 鈴木 清 (高道祖)
 - 吉川 渡 (長塚)
 - 高橋 彦一 (平方)
 - 統計調査員
 - 大島 東吾 (桐ヶ瀬)
 - ◆社会福祉の増進
 - 人権擁護委員
 - 中山 俊王 (数須)
 - 横瀬 眞 (大宝)
 - 保護司
 - 故飯島 紀男 (鎌庭)
 - 更生保護女性会役員
 - 塚原 のぶ (大園木)
 - 塚原 好子 (大園木)
 - 柴 房子 (高道祖)
 - 端 節子 (高道祖)
 - ◆保健衛生の向上
 - 国民健康保険運営協議会委員
 - 中川 暁 (下妻乙)
 - 故早川 福一 (下妻乙)
 - ◆災害の防止
 - 消防団員
 - 野手 稔 (小野子町)
 - 小田部 恒雄 (神明)
 - 河田 聡 (北大宝)
 - 河藤 雅志 (北大宝)
 - 野澤 晃 (下妻戊)
 - 野澤 由則 (柳原)
 - 大塚 正行 (加養)
 - 倉金 進 (高道祖)
 - 齊藤 将人 (高道祖)
 - 倉田 将人 (高道祖)
 - 宇津野 和明 (宗道)
 - 小堀 利行 (宗道)
 - 鈴木 享 (下栗)
 - 小倉 隆治 (原)
 - 菊池 隆治 (原)
 - 清水 将仁 (洪田)
 - 松田 良市 (原)
 - 都井 測夫 (羽子)
 - 猪瀬 光一 (原)
 - 中山 健司 (別府)
 - 交通安全協会役員
 - 田邊 一夫 (村岡)
 - 望月 重雄 (小島)
 - ◆下妻甘熟梨の開発により
地域農業の発展に寄与
下妻の梨PRプロジェクトチーム

有料広告欄

地域で助け合う子育ての拠点「しもつまファミリーサポートセンター」

下妻市役所本庁舎の東側に隣接する「しもつまファミリーサポートセンター」(下妻市社会福祉協議会に委託)は、「子育ての援助を必要としている人」に応じてくれる頼もしい存在です。ゆとりを持って子育てができるよう、「子育ての援助を必要としている人」と「子どもが好きで応援をあげたいと思う人」を、それぞれ「利用会員」「協力会員」という形で紹介し、地域で助け合う子育ての拠点としての役割を担っています。



利用会員の声

利用会員 安田 歩さん

安全で、安心して預けられるのが何よりです。幼稚園のお母さん友達からセンターを紹介され、私がボランティア活動に参加するときや買い物、友達とお茶会などリフレッシュしたいときにも利用しています。子育てのベテランの方に子どもをみてもらえる、安全で、安心感があるのが何よりです。

協力会員の声

協力会員 北嶋 君江さん (下妻乙)

家族の一員として、自分の子どものように自分でも子育てをしながら協力会員になって8年になります。自宅で預かるお子さんは家族の一員として、自分の子どもを育てているような感じで接しています。共に笑い、叱るべき時には叱ることもあります。子ども達には危険がないように心がけています。

アドバイザーの声

アドバイザー 戸ノ岡 真由美さん (下妻市社会福祉協議会)

アドバイザーがしっかりとサポートします。はじめは、見ず知らずの人にわが子を預けることに不安を感じるかもしれませんが、会員登録の際には、お子さんを預かる現場を確認しながら、アドバイザーや協力会員と一緒にじっくりとお話を伺います。安心してお子さんを預けていただけるよう努めています。

あなたの子育てを応援します!

しもつまファミリーサポートセンター ☎44-1157

●所在地 下妻市本城町三丁目13番地

●受付時間 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 午前9時～午後4時

案内図

利用料金・活動費一覧

■ファミリーサポートセンター (生後3か月～小学生) 協力会員または利用会員の自宅でお子さんを預かります。(金額: 1時間あたり)

利用時間	利用料金		活動費
	市内在住	市内在勤	協力会員
7:30～20:30	400円	500円	600円
上記以外	650円	750円	850円
兄弟姉妹2人目から	200円/人		

■うえるまっず (生後6か月～小学生) 託児センターでお子さんを預かります。(金額: 1時間あたり)

利用時間	利用料金		活動費
	市内在住	市内在勤	協力会員
8:30～18:00	400円	500円	600円
7:30～8:30	500円	600円	700円
18:00～20:30	500円	600円	700円

利用限度: 1週間(日曜日～土曜日)につき4日まで

災害時に備え「非常用発電機」を基幹避難所等へ整備

市では、東日本大震災の教訓から、災害時に備えて基幹避難所となる小中学校の体育館など14か所に「非常用発電機」の整備を進めています。この非常用発電機は、LPガスもしくはガソリンを燃料として稼働するハイブリット型で、稼働時は100ボルト・50アンペアを発電することができます。

いざという時に、この非常用発電機をスムーズに始動させ、避難所の運営を円滑に行えるよう、避難所担当となっている市職員や小中学校の教職員35名が10月22日、下妻市役所駐車場で非常用発電機の使い方などを実習しました。

今後は、メンテナンスを兼ねて、学校のイベントなどでも定期的に活用しながら、保管場所や使い方がわかる人材を増やしていくなど災害時への備えを進めていきます。



講習を受け、発電機の使い方を実践する市職員や教職員たち

下妻市女性団体連絡会と市長とのタウンミーティングを開催

「女性目線でのこれからの住みよい下妻づくり」をメインテーマに、下妻市女性団体連絡会の会員30名が9月28日、市長とタウンミーティング（対話集会）を行いました。

タウンミーティングは、保健や環境、教育などのまちづくりのテーマに沿って、参加者と市長が直接対話するフリートーク方式で進められ、参加者からは生活に即した安心・安全を願う視点から災害への備えや交通安全に関する意見、地元特産物を生かした農業や観光の取り組みを求める要望など活発に発言され、稲葉市長はそれぞれの意見等に答えながら、発展的な意見交換が行われました。参加者からは「とても話しやすい雰囲気、普段は言えない地域の課題まで話すことができ良かった。他の人の意見も参考になった」などと感想がありました。

このタウンミーティングの結果等は、市ホームページで詳細を見ることができます。



活発に意見交換が行われました

「茨城国体2019」の開催に向けて中央競技団体が正規視察

平成31年度に茨城県が開催地となる「第74回国民体育大会」（茨城国体2019）で、下妻市は「ソフトボール」（少年男子・少年女子）の競技会場に指定されています。

10月22日、6年後に国体開催を控え、日本ソフトボール協会や茨城県などの中央競技団体正規視察関係者12名が下妻市を訪れ、競技会場に予定している柳原球場や千代川運動公園野球場などを正規視察しました。

視察後の講評では、ナイター設備のある競技会場の検討や選手の宿泊施設、トイレ、観客席の設置など細部にわたる要望等が出され、青柳教育長は「県ソフトボール協会や関係機関と調整を図りながら、準備を進めていきます」と話しました。



正規視察団を市役所に迎え、あいさつする稲葉市長

「下妻市協働のまちづくり市民会議」が発足

10月22日、市民と市との協働によるまちづくりを展開して行く「下妻市協働のまちづくり市民会議」が発足しました。

市民会議は、市民団体の推薦や公募による22名の委員で構成され、任期は2年となっています。稲葉市長は、委員一人ひとりに委嘱書を手渡し、「各分野での経験を踏まえ、下妻市独自のまちづくりについてテーマに沿って意見を出し合い、市民目線で提案してほしい。また団体同士の交流を図ることもまちづくりの大きな力となるので、委員の皆さんからも市民協働を発信していただきたい」とあいさつしました。

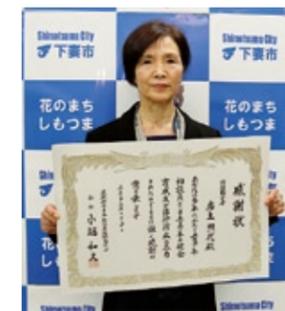
初会合では委員同士が、それぞれに名前・年齢・気になっている地域の課題などを用紙に書き、楽しく交流を図っていました。

今後は月1回のペースで会議を開催し、様々な角度からまちづくりが協議されていきます。



下妻市協働のまちづくり市民会議

青少年の健全育成に尽力 特別功労者表彰



感謝状を手にする岩上さん

茨城県青少年相談員連絡協議会の会長を2期4年にわたり務めた岩上照代さん（砂沼新田）が10月30日、茨城県庁で開かれた「第43回茨城県青少年相談員研修大会」の席上で、特別功労者として感謝状を授与されました。

青少年相談員は、青少年の健全育成と非行防止を推進するため、青少年に対する街頭での声かけや相談、青少年を取り巻く社会環境の健全化などを行う青少年育成者です。

平成2年から下妻市青少年相談員として地域に貢献され、当市から初の県協議会長を務めた岩上さんは「今後も青少年の健全育成に力を尽くしていきます」と話していました。

12月4日～10日は「人権週間」です

2期6年の長きにわたり、人権擁護委員として地域に貢献された国府田義男さん（鯨）に法務大臣から感謝状が贈られ、10月11日に稲葉市長より伝達されました。国府田さんは、行政事情や地域事情に精通し、誠意ある人権相談はもちろん啓発活動に尽力されました。



法務大臣からの感謝状を手にする国府田さん

法務大臣から感謝状

人権擁護委員に、藏持薫さん（大園木）が10月1日付けで法務大臣から委嘱されました。藏持さんは、国府田義男さん（鯨）の後任として就任されました。人権擁護委員は、人権侵害や差別問題など人権に関する悩み事の相談や人権思想を広めるための啓発活動などを行っています。任期は3年です。



藏持 薫さん（大園木）

人権擁護委員の紹介

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

●千葉県浦安市との友好交流

大規模災害時の相互応援協定を締結した千葉県浦安市と下妻市は、この協定締結をきっかけに、浦安市民が観光や農業体験で下妻を訪れる「いいな！下ツアー」や、「砂沼マラソン大会」と「東京ベイ浦安シティマラソン」への市民相互参加など、両市の友好交流を深めています。

昨年に引き続いて参加・出展した「浦安市総合防災訓練」「浦安市民まつり」では、来場者から「この前、下妻に行ってきたよ」「下妻産のお米おいしいよね」などと親近感を持って声をかけてくれる方もあり、浦安市民にとって下妻市が身近な存在となってきました。

「浦安市総合防災訓練」に市長や市議会正副議長が参加

9月29日、「浦安市防災訓練」が浦安市総合公園で行われ、自衛隊や浦安市民など2万5千人が参加する中、下妻市からは稲葉市長や市議会の増田議長、中山副議長が招待されました。

会場では、訓練エリアでの被害状況の確認のために飛来したヘリコプターや消防本部による倒壊家屋からの被災者救出訓練が多く参加者の目を引きましたが、展示エリアに出展した下妻市のPRブースでは、下妻産新米のミルクキーンとわら納豆を販売し、また新鮮な千石きゅうりとアールスメロンの試食でPRを行いました。



訓練開会時に紹介される稲葉市長(左から3番目)

「浦安市民まつり」で下妻産の新鮮野菜を販売し大好評

10月19日・20日の両日、浦安市役所周辺を会場に「浦安市民まつり」が開催され、多くの来場者で賑わいました。

下妻市が出展したブースでは、下妻産新米のミルクキーンや千石きゅうり、レタス、ねぎ、アールスメロンなどの新鮮野菜を中心に販売し、昨年からのリピーターが訪れるなど大好評でした。今年は10月1日に新発売した「下妻甘熟梨のランチパック」も販売し、下妻ブランドをアピールしました。



とれたて新鮮野菜が大好評の下妻市出展ブース



消費者行政活性化社会実験事業 チャレンジショップ(下妻中学校)



いばらきグリーンフェスティバル (鉢花等の無料配布)



渚のモーターショー



オープニングセレモニー (法泉寺保育園鼓笛隊)



多くの来場者でにぎわう商工まつり(青空市)

しもつま砂沼フェスティバル 2013

下妻の秋の一大イベント「第23回しもつま砂沼フェスティバル2013」が10月19日(土)・20日(日)の両日、砂沼サンビーチで開催され、県内外から1万2千人が訪れました。

10月20日の「第26回砂沼フレンドリーフェスティバル」では、茨城県復興支援イベント「茨城元気祭り」に県内のご当地アイドルやゆるキャラが集合し、小学生が職業体験する「はたらキッズ」は子ども達の人気を集めるなど、あいにくの大雨でしたが会場は多くの来場者で賑わいました。

キャンドルナイト2013

「家族への感謝の気持ち」をテーマに、社団法人下妻青年会議所が主催する「キャンドルナイト2013」が10月19日の夜、砂沼広域公園で開催され、約1万本のキャンドルが幻想的な世界を創り出しました。



「家族への感謝の気持ち」は、約1万本のキャンドルを使い「花束」を贈るイメージで表現されました。デザインは筑波大学の貝島桃代研究室に通う大学生たちが考案し、下妻青年会議所メンバーや高校生などのボランティアが一つひとつ丁寧に並べました。

今回の新企画「夢キャンドル」では、下妻市と八千代町の幼稚園や保育園、小学校の児童約5,000名から将来の夢を描いた用紙が集められ、キャンドルのやさしい灯りで照らされていました。



市民交流広場「市民ステージ」



ロリータファッション試着体験



農畜産まつり



はたらキッズ(花屋体験)



茨城元気まつり(茨城県復興支援イベント)ゆるキャラ集合

まちのわだい

Town Topics

息の合ったチームワークを発揮

第64回茨城県消防ポンプ操法競技大会 県西地区大会

消防団の消防技術の向上と士気高揚を図る「第64回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会」が10月20日、古河市中央運動公園で開催され、10チーム60名の選手が競技に臨みました。

今大会は過去にない大雨と強風が吹く中での競技となりましたが、下妻市からは第4分団が出場し、今年5月から約5か月間の厳しい訓練の成果を存分に発揮しました。一番員を務めた高山洋之さんは「無我夢中でしたが、団員が一致団結してやりきれた」と充実感に満ちた笑顔でした。



大雨強風の中で競技に臨む選手たち



息の合ったチームワークで放水活動



防犯宣言をする都井生徒会長

みんなでつくろう安心の街

全国地域安全運動キャンペーン

犯罪が起きにくい社会づくりを推進しようと「全国地域安全運動キャンペーン」が10月15日、イオンモール下妻店で開催され、下妻警察署や防犯ボランティア団体など約100名が参加しました。

キャンペーンでは、千代川中学校3年生で生徒会長を務める都井望美さんが「自転車やオートバイが盗まれないよう『二重ロック』を家族や地域の方々に呼びかけます。外出する時や寝る前には忘れず鍵かけをしましょう」などと防犯宣言を行った後、参加者全員で啓発品を配布し、防犯意識の大切さや安全・安心なまちづくりを呼びかけました。



空き缶などたくさんのごみが回収されました

交通安全の理解と関心を高める

第42回交通安全ポスターコンクール表彰式

10月11日、市民一人ひとりに交通安全の理解と関心を高めるため、市内小学生に募集した「第42回交通安全ポスターコンクール」の表彰式が、交通安全母の会下妻支部の主催により、千代川公民館で開催されました。

今年度は、市内各小学校から610点もの応募があり、厳正な審査により80名が受賞となりました。

下妻警察署長賞を受賞し、受賞者代表お礼のことばを述べた大形小学校6年生の中山沙菜さんは「みんなの手本となるよう交通ルールをきちんと守って登下校し、交通事故にあわないようにします」と力強く語りました。



賞状と記念品を受け取る受賞者たち

引き継がれる七百年の歴史

小野子千手観音坐像開基七百年祭

10月13日、鎌倉期彫刻として評価される茨城県指定文化財の小野子千手観音坐像が、鎌倉時代後期から七百年を迎えるにあたり、小野子観音堂公民館で「小野子千手観音坐像開基七百年祭」が開催されました。

千手観音坐像の供養式が厳かに行われた後の式典では、千手観音坐像の保存等に関わる協力者に感謝状が贈られました。

七百年という長い時が経過した今もなお、修復等を施し、千手観音坐像が引き継がれていることに、地元町内会の役員からは「これからも自分たちが千手観音坐像を守り、少しでも多くの方に存在を知ってもらえるよう努力していかなければならないと改めて感じた」などと話が聞けました。



厳かに行われた千手観音坐像の供養式

花畑散策や収穫体験で下妻の秋を満喫

いいな！下妻ツアー2013



さつまいも掘りに真剣なツアー参加者たち

下妻の秋の魅力を紹介する「いいな！下妻ツアー2013」が10月6日に開かれ、災害時の相互応援協定を契機に市民交流を図る千葉県浦安市から13組35名の家族連れが下妻市を訪れました。

今回のツアーは、小貝川ふれあい公園の花畑で、赤紫や白、ピンクの花を咲かせたコスモスの花摘みや、砂沼広域公園の観桜苑周辺を散策した後、ピアスパークしもつまでは体験農園でさつまいも掘りを体験し、天然温泉でゆったりとくつろぎ、下妻の秋を満喫しました。

家族4人で参加し、さつまいも掘りを体験した小学6年生の女の子は「大きいのも、小さいのもたくさん採れた。お母さんとスイートポテトを作りたい」。60歳代の女性は「小ぶりなお芋は、ご飯を炊くとき一緒に入れると美味しいのよ」と笑顔で話してくれました。



山野草で秋を楽しむ来場者たち

自慢の山野草を展示

秋の山野草展

下妻市自然愛護協会が主催する「秋の山野草展」が9月27日から29日までの3日間、小貝川ふれあい公園ネイチャーセンターで開催されました。

協会では、春と秋の年2回、山野草展を開催しており、今回は会員17名が丹精込めて育てた山野草約300点を展示しました。黄色の花を咲かせるキイジョウロウホトトギスや、赤い実をつけたジュズサンゴ、秋の七草のひとつであるオミナエシなどの鉢植えに、訪れた大勢の市民などが熱心に見入っていました。

市内から友人と来場した60歳代の女性は「作っている人のやさしい気持ちと秋が伝わってくる感じ。華やかな園芸草よりも、心に染み入る感じがいいですね」と話してくれました。

わがやの にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1歳～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【市長公室・広報広聴係 内線1212】までご連絡ください。



伊藤 叶翔 ちゃん

忠夫・洋美さんの長男 下妻乙

いたずら盛りのわが屋の小さなモンスターの叶翔です。(笑)

ダンブやユニボが好きで、ユニボが動いていると大興奮!

そんな姿が、めっちゃくちゃかわいいです。これからも、元気いっぱい、笑顔いっぱいの叶翔でいてね。



千葉 龍都 ちゃん

昌範・綾乃さんの二男 高道祖

昨年春、我が家に新しい家族が増えました。いつもニコニコ笑顔のマイペースな龍都。大好きなお兄ちゃんの後を楽しそうに行きます。時にはおもちゃを取り合ってケンカになる事もあるけれど、これからはずっと仲良しの兄弟でいてほしいと思います。



松本 展宏 ちゃん

知克・絵美さんの長男 古沢

パパとママが並ぶと、必ず間に入ってパパにアンパンチ!ママを守るため。正義のヒーロー、「テンはしょくばんまん!」が口ぐせ。パンツで過ごせるようになって、毎日自分で服を選ぶ姿は一丁前。トレードマークは Donald Duck のおしりのようなうなじ。



口頭詩

子どもの純粋な心のつばき



内山 みのり
3歳9か月
(下妻小友幼稚園)

くもひとつ
はれ ばつかりだね
くもひとつだけだね
くもひとつ
はれ ばつかりだね
くもひとつだけだね
くもひとつ

【解説】
しゃぼん玉をするのが好きで、よく遊んでいます。しゃぼん玉の行方を目で追うといつも空の様子にも気づきます。はれは「はれは晴れの日が続いた事でなく、この空を見ても晴れている事をそう表現しました。そんな空にあった小さな雲がさみしそうに見えた様です。」
採集 母 内山 宏子

ちよかわ幼稚園

秋いっぱい えがおいっぱい

幼稚園の周りには自然がいっぱい。お散歩に行き秋の自然物をたくさんみつけました。

▼年少(ばら組・もも組)のみなさん



木の部分は、子ども達の手形で葉っぱを表現し、秋の深まりを作り上げることができました。



みんなの ギャラリー

From SHIMOTSUMA

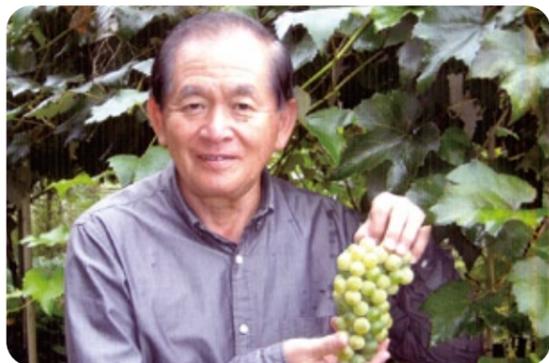
私の故郷は小学校2年生の時(昭和29年の町村合併)まで「真壁郡上妻村」でした。下妻市の住民になって間もなく60年、「故郷しもつま」を自分なりに振り返ってみます。「日本離れして広々としていること」「長野出身の友人は常総線沿線の広がりを感じていました。」「豊かなこと」「伊豆下田近くのミカン農家出の友人は、下妻周辺の梨畑が平

故郷しもつま

わたしから あなたへ

さわやか
リレー
vol.94

前回登場の門井幸男さんからの紹介



飯村 省一 さん(黒駒)

坦で広いこと、また一面見渡す限りの田んぼにも驚いていました。ちなみに彼は梨がこんなに美味しいのかと我が家の長十郎梨を13個食へ、腹を壊しました。「夏は暑く冬は寒い」「これはまあ仕方がないでしょう。」「地震でも津波の心配がない」「大雨でも土砂災害がない」「等々、豊かで穏やかに暮らせる我が故郷は「しもつま」ですね。

俳句

市民文芸

短歌

賽銭の音乾きける神の留守 山本 一步(下妻乙)
地上より出づる花火や曼珠沙華 木村まり子(加養)
地下足袋に勝る靴なし野菊晴 浅野 悦子(鎌庭)
皎々と水を湛へて穂孕みし 山本せい子(下妻丙)
稲田を照らす十六夜の月 横倉 愛子(小島)
在りし日の夫が飼ひたる鈴虫の 鳴く音は今も耳奥にあり 飯村八重子(半谷)
甲子園をめざせる県の決勝戦に 息は球審のジャッジ成し遂ぐ 伊東 豊乃(加養)
綱雲空いっぱい夕焼けて 夕風そよぐ畑に見上ぐる 須藤恵美子(前河原)
吊ひの果てたる帰路の田の畔に 曼珠沙華の花うす墨なせり 中久喜 和(下妻乙)
機を織る音の弾みがしのばれる 山がら啼きたつわが庭さきに 田宮 道子(本宗道)
ひとときを孫と二人で訪ふ畑に ささやかな収穫茄子葱トマト 松田 昭(皆葉)
成せばなる成さねばならぬ世の教え 課題山積み弱る手足に 矢実 澄子(本宗道)
まるまると肥りし幼な抱き上ぐる 老の二人に声たて笑う

有料広告欄

有料広告欄

相談ごと

◆行政相談

日時 12月13日(金) 午後1時30分～3時30分
場所 千代川公民館 1階 小会議室
日時 12月20日(金) 午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 1階 和室
問合せ 市長公室 ☎内線1212

◆特設人権相談

日時 12月6日(金) 午前10時～午後3時
場所 下妻公民館 2階 学習室
問合せ 人権推進室 ☎内線1583

◆こころの健康相談

日時 12月11・25日(水) 午後1時～4時(予約制)
場所 市役所第二庁舎 3階 小会議室
問合せ 福祉課 ☎内線1573

◆消費生活相談

日時 月・火・木・金曜日(毎週)
午前9時～12時 午後1時～4時30分
日曜日(12月8・22日)
午前9時～12時
場所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)
問合せ 下妻市消費生活センター ☎44-8632

◆納税相談

・夜間納税相談
日時 12月5日(木) 午後5時30分～7時30分
・休日納税相談
日時 12月22日(日) 午前8時30分～午後5時
場所 市役所本庁舎 1階 収納課
問合せ 収納課 ☎内線1363～1366

◆心配ごと相談

日時 12月17日(火) 受付 午後1時30分～3時
場所 市役所第二庁舎 3階 大会議室
問合せ 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

◆法律相談

日時 12月10・24日(火)
午後1時30分～3時30分
※事前に予約が必要です(当日不可)
場所 市役所第二庁舎 3階 大会議室
問合せ 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

人口と世帯

11月1日現在の常住人口

	前月比	前年比
人口	43,820人 (-9)	(-377)
男	21,922人 (-1)	(-193)
女	21,898人 (-8)	(-184)
世帯数	15,094世帯 (+15)	(+110)

☎ テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111
◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

健康カレンダー Health Calendar 12月1日～12月31日

12/1 日	在 湖南病院/とき田クリニック	小 西南
2 月	子宮がん検診 下妻保健センター (13:00～13:30)	小 西南
3 火	元気アップ教室 (9:30～10:00) 子宮がん・骨粗検診 下妻保健センター (13:00～13:30)	小 西南
4 水	子宮がん・骨粗検診 下妻保健センター (13:00～13:30)	小 西南
5 木	遊びの広場 (10:00～10:30) 1歳6か月児健診 (13:15～13:30)	小 西南
6 金	ひよびよ教室 (10:00～10:30) 5か月児健診 (13:15～13:30)	小 古河
7 土	セット健診・胃がん検診(予約制) 下妻保健センター (7:00～10:30)	小 西南
8 日	在 浅田医院 セット健診・胃がん検診(予約制) 下妻保健センター (7:00～10:30)	小 友愛
9 月		小 西南
10 火	2歳児歯科健診 (13:15～13:30)	小 西南
11 水	子宮がん検診 下妻保健センター (13:00～13:30)	小 西南
12 木	子宮がん検診 下妻保健センター (13:00～13:30)	小 西南
13 金	3歳児健診 (13:15～13:30)	小 古河
14 土		小 西南
15 日	在 古橋医院	小 西南
16 月		小 西南
17 火	キッズくらぶ(ベビー&ママ体操) (10:00～10:30) 前期マタニティクラス (13:15～13:30) ママサロン (13:30～15:30)	小 西南
18 水	子宮がん・骨粗検診 下妻保健センター (13:00～13:30)	小 友愛
19 木	子宮がん検診 下妻保健センター (13:00～13:30)	小 西南
20 金	子宮がん検診 下妻保健センター (13:00～13:30)	小 古河
21 土		小 西南
22 日	在 砂沼湖畔クリニック	小 西南
23 月	在 渡辺クリニック	小 西南
24 火		小 西南
25 水		小 西南
26 木	パクパク離乳食教室 (10:00～10:15) すくすく相談 (13:30～)	小 西南
27 金		小 古河
28 土		小 古河
29 日	在 中岫産婦人科医院	小 古河
30 月	在 下條整形外科	小 友愛
31 火	在 平間病院	小 西南

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時

湖南病院/とき田クリニック ☎44-2556
浅田医院 ☎44-3957
古橋医院 ☎44-2792
砂沼湖畔クリニック ☎43-8181
渡辺クリニック ☎43-7773
中岫産婦人科医院 ☎44-2438
下條整形外科 ☎43-3666
平間病院 ☎43-5100

夜間応急診療所 保健センター内 ☎43-1990

土・日・祝日(1月1日を除く): 午後7時～翌朝7時

小児救急当番医

月・火・水・木・金・土曜日: 午後6時～午後11時
日曜・祝日: 午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。

- ・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190) ☎0280-87-8111
- ・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707) ☎0280-97-3000
- ・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150) ☎0280-23-7111

平成25年度 上半期 予算の執行状況

市では、予算の執行状況や財産について、年に2回公表しています。今回は、平成25年4月1日から9月30日までの予算の執行状況をお知らせします。

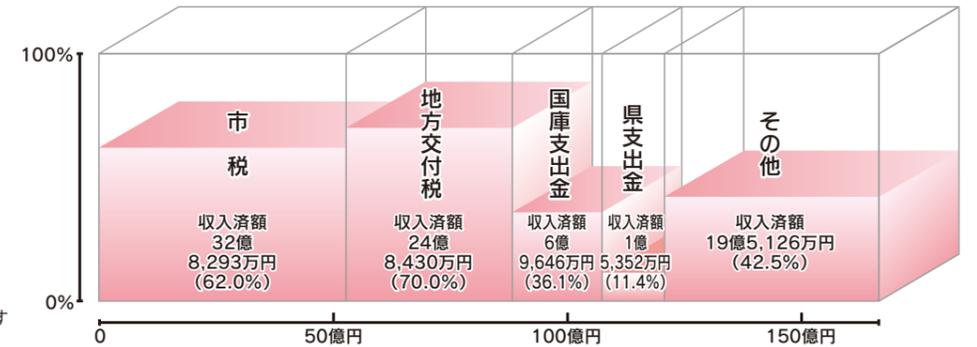
問い合わせ 財政課 ☎内線1335

一般会計

歳入

予算現額 167億 558万円
収入済額 85億6,847万円
(収入率51.3%)

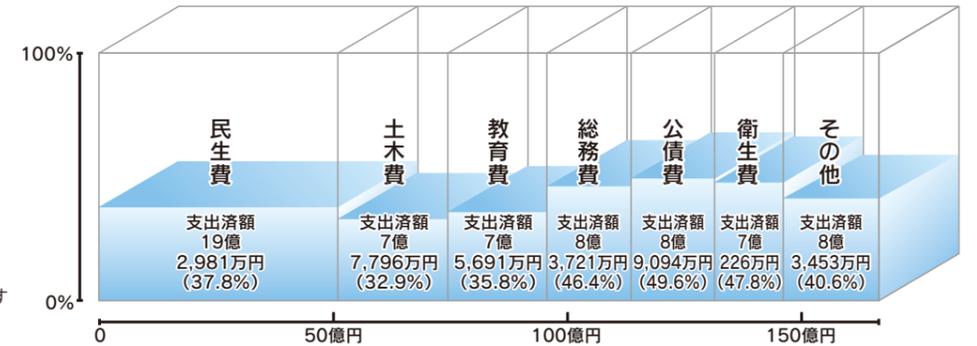
※歳入の「その他」は、市債、地方譲与税、使用料・手数料などで



歳出

予算現額 167億 558万円
支出済額 67億2,962万円
(執行率40.3%)

※歳出の「その他」は、農業費、消防費、議会費、商工費などで



特別会計

会計区分	予算現額	収入済額と収入率	支出済額と執行率
国民健康保険	56億7,510万円	29億2,419万円 51.5%	22億8,525万円 40.3%
後期高齢者医療	3億6,100万円	1億4,594万円 40.4%	1億2,762万円 35.4%
介護保険	31億2,492万円	12億6,768万円 40.6%	12億3,328万円 39.5%
介護サービス事業	740万円	576万円 77.9%	152万円 20.5%
下水道事業	8億9,280万円	5億 453万円 56.5%	3億2,860万円 36.8%
砂沼サンビーチ	2億 200万円	2億4,110万円 119.4%	8,553万円 42.3%

市有財産の現在高

土地	1,204,069㎡	建物	151,075㎡
車両	130台	基金	37億8,359万円

地方債の現在高(特別会計を含む)

総務債	8億9,148万円
農業債	7億4,569万円
土木債	37億6,300万円
教育債	41億3,657万円
下水道事業債	60億9,157万円
臨時財政対策債	66億 716万円
その他	10億3,885万円

広報しもつま2013年10月号の訂正

○2ページ: 特集記事内の日付【誤】9月28日 → 【正】9月23日
○4ページ: 平成24年決算報告の上部表題
【誤】介護保険 → 【正】後期高齢者医療 【誤】後期高齢者医療 → 【正】介護保険
【誤】特別会計決算状況 → 【正】一般会計決算状況 【誤】下水道事業 → 【正】介護サービス事業 【誤】介護サービス事業 → 【正】下水道事業